

# 2月 日本共産党県議団 県議会ニュース です

**藤岡義英**議員の2月県議会での質問と答弁の要旨を紹介し  
ます。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、  
質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



## ※※中小企業支援と一体での賃上げについて※※

**藤岡** 県内の多くの中小企業が国の助成金や県の補助金を十分に利用できていない現状で、賃上げと生産性向上を同時に進めることは困難と感じているのではないかと。岩手県のように生産性向上を条件とせず、賃上げに取り組むことのみを条件とする中小企業への直接支援制度を創設すべきと考えるがいかがか。

**知事** 直ちに賃上げするためには、一定程度の効果があり得るのかな…ただ、その効果がしっかり継続するのかわかるかは、これからの岩手県の実情を踏まえなければいけない。

**藤岡** 群馬県でも2月議会に27億円の規模で賃上げ支援金が提案された。県独自の支援を重ねて求める。

## ※※学校給食費無償化について※※

**藤岡** 給食費無償化は全国的に広がり、県内でも26町村が無償化又は一部無償化を実施している。県内各地で給食費無償化を求める署名活動が広がり、早期実現に向けての気運が高まる中、県としても市町村に財政支援を実施すべきではないか。

**教育長** 学校給食費の枠組みが学校給食法により保護者負担が原則だが、現在国で給食費無償化に関する議論が行われており、県教委としては国の動向を注視していく。

**藤岡** 子育て世帯から給食費無償化に対する多くの要望の声を聞いている。「こどもまんなか」を打ち出している長野県として、国の決断を後押しするために25年度から前倒しで市町村と連携し、実施を決断すべき。

## ※※ガソリン価格高騰問題について※※

**藤岡** 長期間続くガソリン価格高騰は、県民生活や県内経済に甚大な損失を与えている。一刻も早く価格を引き下げてほしいという県民や県内事業者の思いをどう受け止め、どう向き合うのか県として真剣に考えていただきたい。

**知事** これは最重要課題の一つ。長野県の暮らしにはマイカーに依存せざるを得ない。暮らし、産業、両面から考えなければいけない。県民のための仕事以外にも全国的な観点での取組を行っているので、問題提起をしながら価格抑制に向けしっかり考えていく。

**藤岡** ガソリン代については、実態解明を、適正価格を、と県民の切実な声だ。中山間地のガソリンスタンドの厳しい経営状況に対しての支援も必要。県にさらなる対応を求める。

### ☆質問を終えて☆

県民の切実な声・世論の高まり・国の動き・他県の制度を紹介し、それぞれ支援制度の実施を迫りました。引き続きがんばります。

